

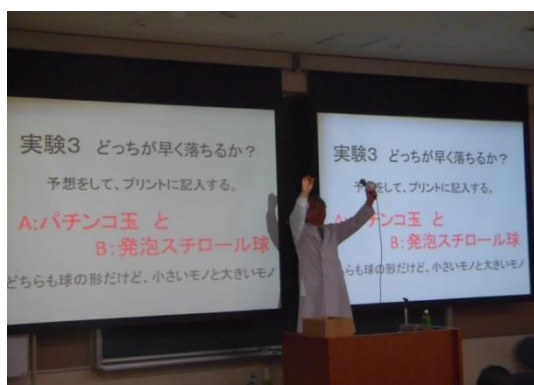
土曜講座で“落ちる話”“飛ぶ話”“戻ってくる話”について勉強しました。

7月14日（土）、一貫1年生と一貫2年生を対象に実施した土曜講座で、立命館大学の船田智史先生による講演が行われました。

船田智史先生には毎年講演をお願いしていて、毎回楽しく科学について色々なことを教えてもらっています。今回は“落ちる話”“飛ぶ話”“戻ってくる話”の三つについて、様々な新しい発見をする事ができました。

最初は物の落ちる速さに関する疑問から始まり、重たいものと軽いものを同時に落下させるとどちらが早く落下するのか、実際に目の前で行われている実験を見ることで、より理解が深まったようです。その後、どうして飛行機は飛ぶ事ができるのか、ブーメランは どうして自分のところに戻ってくるのか、送風機の風で浮いている、エアバットやペットボトルからヒントを得て、皆であれこれ意見を出し合い考えました。

受講した生徒たちも、今までの自分の経験による知識との不協和音から、新しい発見に対する知的好奇心が生まれ、目を輝かせながら、講演に参加する事ができていました。



【どちらが早く落ちるかな？】



【バットが浮くのはどうして！？】



【実際に戻ってくるおもちゃを作って飛ばしてみよう！】